

【環境審議会】会議概要

会 議 名	令和4年度第1回環境審議会				
事 務 局	環境部長・須藤 純二、環境政策課長・加藤 鉄也、生活環境保全課長・志田野 隆史、足立清掃事務所長・山本 克広				
開催年月日	令和4年6月6日（月）				
開催時間	15時00分から16時40分まで				
開催場所	足立区役所8階庁議室				
出席者 ※：オンライン参加	※田中 充	※百田 真史	※水川 薫子	ぬかが 和子	高山のぶゆき
	いいくら昭二	土屋のりこ	小泉 俊夫	※佐藤 強士	※茂木 福美
	※中村 重男	※植村 公彦	田島 のぞみ	工藤 信	
欠 席 者	大峽 廣男				
会議次第	別紙のとおり				
資 料	・令和4年度第1回足立区環境審議会資料				
そ の 他					

**(加藤鉄也 環境政策課長)**

環境政策課長の加藤でございます。会議に先立ち、事務局からお知らせがございます。今回も昨年度同様、会場とオンラインの併用で会議を開催いたします。ご発言の際は、ゆっくりはつきりを意識していただきますよう、ご協力をお願いいたします。

また議事録につきましては、出席委員名および発言者、発言内容を掲載し公開することを報告させていただきます。

それでは田中会長、よろしくお願ひいたします。

**(田中充 会長)**

皆様こんにちは。ただ今より、令和4年度第1回足立区環境審議会を開会いたします。どうぞよろしくお願ひいたします。

新型コロナウイルス感染状況も少しずつ落ち着いてはきておりますが、まだまだ多くの感染が都内で発生しております。引き続き感染に留意しながらこの会議も進めてまいりたいと思います。

また昨年度末で環境基本計画の改定を行うことができました。委員の皆様のご協力にありがとうございます。御礼を申し上げます。

本日は策定した環境基本計画を受け、さらに次のステージへ進むということで、ロードマップの検討に入ったとことで、これについての審議が議題になります。皆様の活発なご意見を頂戴したいと思います。

それでは早速、内容に入ってまいります。本日の出席委員の確認をお願いできますでしょうか。

**(加藤鉄也 環境政策課長)**

事務局でございます。

オンラインが7名、会場も同じく7名、計14名の出席となっております。

**(田中充 会長)**

ありがとうございます。

今、ご報告がありましたように、委員定数15名のうちオンラインが7名、会場が7名、計14名の出席ということでございますので、本日の審議会は成立していることを報告いたします。

また審議会の公開、非公開でございますが、足立区審議会の設置及び運営に関する指針におきまして、個人に関する情報等、公にすることが不適当なものを除き、審議会は原則公開となっております。審議会において公にするべきでないと思われるものがある場合には、審議会の決定により非公開とすることができるとも定められております。今回は傍聴希望の方がいらっしゃるようですので、この指針に基づきますと、原則は公開し傍聴を認めることとなりますが、個別の案件について非公開とすべきというお考えの委員がいらっしゃいましたら、ご発言をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

特にご意見がないようです。もし個人情報等に関する内容がでてきたら、その段階でまたお尋ねさせていただきますので、このまま公開ということで進めさせていただきます。では、傍聴の方に会場に入るようにお伝えください。

続いて、本日の審議会の議事録署名人でございますが、いつも大変恐縮でございますが、会場にお越しいただいている委員の中から指名をさせていただきます。お手数ですが、ぬかが委員、高山委員、よろしくお願ひいたします。

それでは、配布資料の確認について事

事務局からお願いいたします。

**(加藤鉄也 環境政策課長)**

事務局から配布資料の確認をさせていただきます。事前に皆様にお送りしました資料は本日の次第、令和4年度足立区環境審議会資料でございます。

次に、本日の進め方でございますが、基本的には前回と同様でございます。ご意見やご質問がございましたら、オンラインの方は挙手ボタンまたは画面に向かって分かるように挙手をお願いいたします。会場の委員は挙手をお願いいたします。事務局で挙手されている方を会長にお伝えいたしますので、会長の指名によりお1人ずつご意見、ご質問をお願いいたします。その後、委員からのご意見、ご質問が揃ったところで会長の進行で事務局からお答えをさせていただきます。進め方は以上でございます。

**(田中充 会長)**

ありがとうございます。

本日もオンラインと会場との併用で進めてまいりますので、大変恐縮ですが、ご発言の際には少し大きめの声ではっきりとご発言をお願いしたいと思います。ご協力をお願いいたします。

それでは、議題に入ります。まず報告事項の1について事務局から説明をお願いいたします。

**(加藤鉄也 環境政策課長)**

事務局でございます。

報告事項1頁をご覧ください。ロードマップの構成および区の現状分析について、でございます。今回、CO<sub>2</sub>削減目標に向けて具体策をまとめたロードマップを2022年度中に策定する予定でございます。予定しているロードマップの構成と現在の区の状況の分析についてご報告

をさせていただきます。

まずロードマップの構成でございます。項番1(1)、目的および位置付けでございます。具体的なCO<sub>2</sub>削減策と実施スケジュール、個別の施策による削減量を示すことで、2030年度までに区内のCO<sub>2</sub>排出量を46%以上削減するという第三次足立区環境基本計画改定版に定めた目標実現への道のりについて見える化をしていきます。

概要でございますが、この基本計画やCO<sub>2</sub>排出実質ゼロ宣言等ロードマップ策定の経緯と全体の事業実施スケジュールやそれに伴い削減するCO<sub>2</sub>の量を示していきたいと考えております。

実行体制でございますが、2頁に記載しておりますので、後ほどご覧ください。

(4)でございます。区の特徴、強みや弱み、CO<sub>2</sub>排出量、エネルギー使用量、廃棄物量等、2013年度以降の推移や現在の取組を継続した場合の2030年度の推計値を示し、その中で区全域における現状と課題、事業者としての区の現状と課題について分析をしていきたいと考えております。

個別具体策でございますが、具体的な取組内容、過去実績、今後の取組に関する数値目標とCO<sub>2</sub>削減量等をわかりやすく示していきます。例えば個別的な話として、区民や事業者等団体への支援策、公共施設や公用車等、事業者としての区の取組等をまとめていきたいと考えております。

項番3、区の現状と課題につきましては、3頁から32頁までに記載をさせていただいておりますが、今回は時間の関係で32頁をご覧ください。区の部門

別、燃料別のエネルギー使用量を一覧にまとめたものでございます。2019年度の実績に基づいて概要を説明させていただきます。

それぞれの状況について見ていただきますと、産業部門では電力が約半分を占めているのが特徴です。家庭部門につきましては、LPG、都市ガス、電力で9,000TJのうち8,000TJ以上を占めており、ガスと電力の消費が多いという傾向が見て取れるかと思えます。業務その他部門についても、電力が非常に多いという状況になっております。運輸部門に関しましては、ガソリン、軽油が非常に多くなっています。

この傾向を受けまして、今回追加で資料を出させていただいた、区の方向性についてご覧いただいでよろしいでしょうか。こちらで足立区の課題と対策の方向性についてご説明させていただきます。

まず産業部門ですが、電力使用が約半分ということで、特に製造業の太陽光等再エネ設備の導入や自家消費や省エネ機器への入れ替えが有効な施策と考えております。家庭部門、業務部門につきましては、電力とガスが大半を占めておりますので、まず電力に関しましては、屋根置き太陽光パネルの設置、それができない方には再エネ電力活用の促進が必要だと考えております。ガスについても排出係数の低いエネルギーの活用や、電化等が必要です。運輸部門では、ガソリンを減らしていくためにEVの導入と使用の削減も今後検討していきたいと考えております。EVの導入に関しましては、電気自動車購入の促進とともに充電設備等必要なインフラを整備していければと思います。また自家用車保有や使用の縮

小に向けた環境の整備も同時に考えていく必要があります。当然、車を使うこともございますので、持つのではなくカーシェアをしていくとか、公共交通機関や自転車の利用を促進していくということが大きな効果を生むと考えております。さらに廃棄物ですが、プラスチックの分別や食ロスの対策等ごみの減量に取り組んでいきたいと考えております。

続いて公共施設における方向性でございます。まずエネルギーの使用に関しましては、省エネを徹底していくことは当然のことですが、さらに創エネにも取り組んでまいります。具体的には公共施設の改修と合わせた計画的な省エネ改修や再エネ設備の導入、また、新築、改築の施設はZEB化を検討していきたいと考えております。

電力使用に関しましては、再エネ100%電力への切り替えを進め、公用車につきましては、EVの導入や使用の削減を進めていきたいと考えております。さらに廃棄物の削減ですが、まずペーパーレス化を推進していくことと、事業者としてプラスチックの使用を削減していきたいと考えております。

該当する資料頁につきましては、一番右に資料記載頁がございますので、参考にご覧いただければと思います。事務局からの説明は以上でございます。

#### **(田中充 会長)**

資料の本編の3頁から色々なデータが載っておりますが、ここのご説明はよろしいですか。

#### **(加藤鉄也 環境政策課長)**

それでは3頁以降についても簡単に説明させていただきたいと思えます。

まず3頁につきましては、足立区の基

礎データとして人口や世帯数等を記載しております。ご覧いただくと、平均の世帯人員が徐々に減ってきているのが大きな傾向でございます。さらに人口を細かく見ると、年齢別の構成としてやはり高齢者の比率が少しずつ高くなり、年少者人口が減少傾向にあることがわかります。

4頁をご覧ください。事業所の従業者数別の割合では1名から4名のいわゆる零細といわれる事業者が59.7%を占めているところが特徴といえます。

続いて5頁でございます。工場数が減少している一方で、製造品出荷額等は概ね近年横ばいで推移しているところがございます。自動車の保有台数ですが、一般的に自動車離れと言われてはいますが、足立区では総保有台数はほとんど変わっていません。

続きまして6頁をご覧ください。区全体の部門別のCO<sub>2</sub>に関してですが、平成25年度の255万トンに対し、令和元年度には206万トンまで下がってきています。ただ部門別に見ていただくと、横ばいの部門や下がってきている部門が見取れると思います。

7頁をご覧ください。こちらは細かい話になりますので、省略させていただきますが、省エネルギーや再生可能エネルギーの拡大等の分野について課題を整理している部分でございます。

続いて将来の推計をどのように出していくかというのが10頁になります。10頁の折れ線グラフの実線部分が2030年度の目標値になります。点線部分が今の施策を続けていくところのぐらゐ減るといふ推計値になります。実線と点線の差の部分、新たな施策でどのように減らし

ていくかを考えていくことが、ロードマップの考え方、施策の組み方になってくると考えております。事務局から追加の説明は以上でございます。

#### **(田中充 会長)**

ありがとうございました。

見ていただくと、12頁、13頁はごみの関係で、燃やすごみや食品ロス、14頁以降は公共施設の関係で、公共施設でどれだけ温室効果ガスを排出しているかという基礎データをまとめていることになるかと思ひます。公共施設については、事務事業編という部分で今回のロードマップと併せて整理をするということで理解をしております。

それではご質問がある方がいらっしゃいましたら、まずオンラインから挙手をしていただひて、続いて会場をお願いしたいと思ひます。オンラインの委員はいかがでしょうか。特に挙手がないようですが、会場はいかがでしょうか。

#### **(加藤鉄也 環境政策課長)**

ぬかが委員が挙手されています。

#### **(田中充 会長)**

ぬかが委員、お願いいたします。

#### **(ぬかが和子 委員)**

1つが、7頁のCO<sub>2</sub>削減に向けた課題のまずトップに、区民・事業者の持続的な省エネ行動につながる行動変容策が必要ということがありますが、これは本当に大事だと思ひます。第三次環境基本計画もそうですけれど、今回のゼロ宣言のロードマップにしても、足立区が取り組んでいるということ、太く大きくどう突き出せるかということになると思ひます。それが本当に分かると、この行動変容にもつながってくるのではないかと思ひますので、そういった点でこの辺

りをどう膨らましていこうとしているのかお聞きしたいと思います。

次に第三次環境基本計画が策定されて区民の方々にアピールすべきリーフレットがまだできてないと思いますが、それも早急に作っていただきたいです。これは3年間の計画なので、あっという間に過ぎてしまって、きちんとしたものが出た頃には次の見直しといったことにならないように、早急にやってほしいと思っていますので、よろしくお願いします。

**(田中充 会長)**

ありがとうございました。

行動変容の具体的な方策ということでお尋ねいただいたかと思います。それでは、他の委員はいかがでしょうか。

**(加藤鉄也 環境政策課長)**

田島委員が挙手されています。

**(田中充 会長)**

田島委員、お願いいたします。

**(田島のぞみ 委員)**

こんにちは。田島と申します。

この度は様々な資料をありがとうございました。私が聞きたいことは2点ございまして、8頁の廃棄物のところで、生ごみの焼却処理のエネルギー効率を悪化させる要因となるため、食品ロス対策等による減量を図る必要があると書いてありますが、具体的に食品ロス対策等というのはどういったことをされているのでしょうか。私はコンポスト事業にすごく興味があって、一区民からの要望ですが、どういうふうに使われている方がいるといった声が聞けたらすごくありがたいと思いました。

もう1点は、CO<sub>2</sub>吸収のところです。既存の緑の保全とともに緑化の推進を図ることが必要と書いてありますが、具体

的に今区でされていることがあったら教えていただきたいと思いました。

これはデジタルと関係するのかもしれませんが、区内には農家が結構多いと思っていて、そういう農家を応援する事業があればお聞きしたいと思いました。以前、新聞で農地がCO<sub>2</sub>を吸収するという記事を読んだことがあって、特に環境にやさしい有機栽培をしている農家などを応援してほしいと個人的に思いました。

**(田中充 会長)**

ありがとうございました。

それではお尋ねの点、事務局からお答えいただいでよろしいでしょうか。

**(加藤鉄也 環境政策課長)**

事務局でございます。

ぬかが委員の行動変容についてのご意見は、すごく重要であると考えています。区の取組としましては、普及啓発事業をまずしっかりやっていきます。本年度の特徴的なこととしては大きなイベントがコロナ禍で難しかったので、例えば身近な家電量販店やスーパーでパネル展示をすることで、興味がない人にも目に付く機会を増やしていきたいと考えています。今までも継続していた、特に子どもたちへの環境に対する事業について、今年度は鋸南の臨海教室の中で海に関する環境事業を実験的に取り組んでみたいということ、日常的に小学校の出前講座を行って、子どもが理解して家に帰って親に話していくという流れができればと考えているところでございます。

もう1つの区民の方へのリーフレットは急いで作っておりますので、もうしばらくお待ちください。

続いて田島委員の生ごみの処理についてです。まず食品ロス対策でございます

が、去年も食品ロスの普及啓発として、冷蔵庫を整理すると食品が効率よく使える等、ご提案をさせていただきました。もう1つ質問のあったコンポスト、いわゆる生ごみ処理機の普及啓発で、実例に関しては確かに今までやったことがないので検討したいというのと、コンポストの難しいところが足立区は都市部ですので、堆肥の生産量が自分の家の消費量を上回って堆肥が余ってしまうこともあるので、生ごみの水分をしっかりと取ることでごみの減量になるということもしっかり区民の方にお知らせをしていければと思っています。資料に書いてあるとおり、生ごみは水分がほとんどですので焼却効率を落としてしまうという課題がございます。

**(工藤信 委員)**

副区長の工藤です。

私の方から農地の保全について今やっていること、これからやれることをご説明します。もともと農地があるところで区民農園として何とか活用できないかということで今取組を行っています。今までは大きい農家の生産緑地になっているところでしたが、今後は小さい農地も含めて、農業振興プランでは年間140区画の区民農園を増やしていくという非常にハードルの高い目標がありますが、何とか少しでも近づけられるようにと思っています。

それと1か所かなり広い農地が舎人の方にあります。単純にそこを買って公園にするのではなく、農地として活用できる取組を行っているところでございます。

**(田中充 会長)**

ありがとうございます。今お尋ねいた

だいた委員、追加でいかがでしょう、他の委員でも構いませんが、いかがでしょうか。

**(加藤鉄也 環境政策課長)**

ぬかが委員が挙手されています。

**(田中充 会長)**

ぬかが委員、お願いいたします。

**(ぬかが和子 委員)**

区が今年やろうとしていることはある程度わかっているうえで、要望も兼ねて申し上げたのですが、実は行動変容につながるという点では区の建物のZEB化も非常に大きいと思っています。日本初のZEB認証をされた開成町の庁舎を調査してきたのですが、区民の方が行く庁舎でZEBが見えることが非常に大きいと感じました。木材をいたるところに使いながら基本的には省エネを重視して、特殊なものは使っていないけれども断熱材を多めにするなど、効果的に色々な工夫をして、50～75%削減という庁舎を誕生させたということでした。このように大幅な省エネと創エネを合わせてエネルギーを実質ゼロに近づける、そういう建物を造れるということを区民の方が気軽に行つてわかる施設が必要だろうと思います。小さい建物でもいいので区の建物をモデルにして、区民の方に見てもらえるようにすることが大事だと思います。ぜひお願いしたいと思います。

また開成町の庁舎の自販機は、ペットボトルは1つも使っていませんでした。海洋プラスチックやプラスチックごみの問題があるので、完全にリサイクルできるアルミ缶もしくは紙という条件を付して入札し、庁舎の自販機については実現したということでした。これも環境部だけでできることではないですが、庁舎の

中で環境にすごく気を遣っている、配慮しているということが区民の方に見えないと行動変容と言っても口だけに聞こえてしまいます。区の本気度が見えないと、せっかくゼロ宣言してもしたことから分からないと思うので、この2つをぜひ入れ込んでいただきたいということ、先ほどのお答えを受け要望いたします。

**(田中充 会長)**

ありがとうございました。

要望ということで承りました。それではオンラインの中村委員、お願いいたします。

**(中村重男 委員)**

先ほどぬかが委員から行動変容についての重要性ということで意見がありましたが、私もここは大変重要だと認識しています。家庭部門が4割を占めているということですので、家庭部門の省エネをぜひ推進していただきたいのですが、具体的な家庭へのメリットがどの程度あるのか見える化をしていただいて、区民に情報提供してほしいと思います。例えばチェックシートで数字を入力するとどの程度節約できるのかといったものを使っていただくとか。

もう1点は、地域コミュニティをぜひ活用して連携をしていただきたいと思います。たまたま今年、私がマンション管理組合の役員になって自治会の担当になりました。自治会の役割というのは非常に重要だと認識しております。ですから区の方から省エネ行動によって家計へのメリットがあるということ、地域コミュニティと連携をしていただいて、効果がある施策を実施していただきたいと思います。

**(田中充 会長)**

ご発言をありがとうございました。省エネ行動、特に家庭での普及についてのご意見をいただきました。

他にいかがでしょうか。

**(加藤鉄也 環境政策課長)**

いいくら委員が挙手されています。

**(田中充 会長)**

いいくら委員、お願いいたします。

**(いいくら昭二 委員)**

今後はやはりロードマップの策定が重要になるということで、先ほども説明がありましたように何もやらない場合との差をどのように埋めていくかが重要になると思います。今回のロードマップは議会でも話になっていて、大切な工程表になると思いますので、2頁の策定の体制について、どのような形で業者にお任せされて、それがどのようにこの審議会等に報告されるのかについてお伺いしたいと思います。

**(田中充 会長)**

ありがとうございました。

今回のロードマップ策定の進め方ということのご質問だったかと思います。その前の中村委員、ぬかが委員はどちらかというところのご意見かと思いますが、そこも含めて事務局お答えいただいでよろしいでしょうか。

**(加藤鉄也 環境政策課長)**

事務局でございます。

ペットボトルを入れない自販機や、区施設でZEB化をできないかということについては、庁内の調整も含めてしっかりやっていきたいと思っています。行動変容について、メリットを情報提供してほしいということですので、これに関してもホームページやパネル展などで何かできないか考えていきたいと思っています。

地域コミュニティを使ってほしいというご要望に関しても地域に出向いて環境の講座を実施したり、ご協力をお願いをしているところがございます。また再エネ 100 電力についてもマンションの管理組合を通した情報提供など、いろいろ工夫しながら皆様に知っていただくという努力をこれからもしていきたいと思っております。

続いてロードマップの策定の体制についてでございますが、まず区全体の区域施策編については、コンサルに入っていますので、区の特性や現状を踏まえた施策の提案をまずしていただくということです。ただそれだけでは区のことをなかなか分かっていただけないかと思っておりますので、今回は3頁から32頁で区の基本的な数字や特徴をしっかりと分析するというのに時間を取らせていただきました。

さらに区とコンサルだけでやるというのではなくて、しっかりと事業者とも連携していきたいと思っております。エネルギー等事業者と連携による事業実施ということで、今回のロードマップは具体的な施策になりますので、単に絵に描いた餅ではなく、例えばカーシェアはこのように進めていきたいと思います。再エネ 100 電力については区でPRするだけだとなかなか区民の方に届かないので、色々な方法を使っていきたいと思っています。また、区内の企業からこういうことやってみたいと言っただけであれば、サポートできる仕組みも今後考えていきたいと思っています。

区と今回委託したコンサルとでやるだけではなくて、色々な団体と連携するこ

とと、区の特性や現状の数字をしっかりと捉えて分析していきたいということに加えて、環境審議会でご提言いただいて生かせるものはしっかりと生かしていきたいと考えております。

公共施設については、環境部だけでできることではないので、公共施設環境対策会議の各ワーキンググループに協力を依頼しながら公用車の導入や施設の ZEB 化についてしっかりと検討していければと考えております。

**(田中充 会長)**

ありがとうございました。

ご発言をいただいた委員よろしいでしょうか。不十分なことがあったら再度ご発言をお願いしたいと思います。

**(加藤鉄也 環境政策課長)**

いいくら委員が挙手されています。

**(田中充 会長)**

いいくら委員、お願いいたします。

**(いいくら昭二 委員)**

この資料では環境審議会へ報告となっていますが、審議会で審議されたことをどのように反映するかということで、報告というのは少し違う気がします。大切なこととして、コンサルが一番重要なポジションとは思いますが、足立区らしさというか、少なくとも足立区のことをしっかりと分かって、地に足がついて現場をしっかりと見たうえでの工程表の作成をぜひともお願いします。これは要望でございますが、その点についてはどうお考えでしょうか。

**(田中充 会長)**

ありがとうございました。審議の進め方についてですが、事務局からお答えいただけてよろしいでしょうか。

**(工藤信 委員)**

副区長の工藤でございます。

ロードマップそのものは今のところ区長が諮問をしていないので、審議事項ではなく現状では報告という形になっていますが、審議事項にした方がよろしいでしょうか。私どもとしては、ご意見をお伺いして修正したうえでより良いものにしていくと考えていたところですが、もしどうしても審議事項にした方が良いということであれば諮問させていただきま。ご意見があればお伺いします。

**(いいくら昭二 委員)**

これは足立区議会と足立区が一緒になって2050年までに実質ゼロを目指すための工程表になるわけで、大変に重い判断になると思いますので、その点を踏まえたうえで副区長のもとでぜひとも判断していただきたいと思っております。

**(工藤信 委員)**

審議事項ということで今後諮らせていただければと思います。なお先ほど委員の皆様から絵に描いた餅にならないようにとのご意見がありましたので、なるべく実効性のある形で具体的に進められるようにしていきたいと思っております。

**(田中充 会長)**

ありがとうございます。

私からも補足をさせていただきたいと思っております。おそらくいいくら委員のご要望については、報告事項として審議会が報告を受けるといって一方通行のやり方ではなく、報告を受けたうえで審議会の委員の立場から要望なり意見を出して、それがまた工程表の検討に反映されていくという双方向の検討が必要ではないかという趣旨で受け止めました。

私も全く同じような印象を持っておりまして、これは議会も同意したゼロ宣言

に向かって具体的な道筋を示すものから、単にコンサルと事務局で作るというだけでは足りないと思っております。広く区民の皆様のご意見を聞くという場合によっては出るかもしれません。そのような区の中の様々な主体の協力をいただきながら工程表を具体的に進捗させていかなければなりませんので、そういう点ではこの手続きにおいてもそれなりの丁寧さといいますか、各方面の意見を聞きながら進めていくことが必要ではないかと思いました。おそらく副区長からもそういう趣旨のご発言があったものと理解をしております。

他の委員はいかがでしょうか。

**(加藤鉄也 環境政策課長)**

小泉委員が挙手されています。

**(田中充 会長)**

小泉委員、お願いいたします。

**(小泉俊夫 委員)**

こんにちは、小泉です。

私は足立区の商工会議所から代表して来ているんですが、先ほど言われた具体的にどう取り組んでいくのかがあまり伝わってきません。今まで商工会議所の工業部会や他の部会でも全体的にはSDGsということでそれぞれやろうとしているのですが、足立区として何をしてほしいのか具体的なものあれば工業部会にも伝えたいと思っております。

どう行動していけばいいのかということをはっきりしていただければ、伝えてまいりたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

**(田中充 会長)**

ありがとうございました。

ご意見、ご要望と受け止めましたが、事務局何かコメントがございましたらお

願いいたします。

**(加藤鉄也 環境政策課長)**

事務局でございます。

今回の報告事項に関しましては、確かに具体策というのは何も載っておりません。まず今回は現状の数字の把握と、そこから見えてくる検討の方向性の整理でございます。これから具体策をしっかり出していきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

**(田中充 会長)**

ありがとうございます。

**(須藤純二 環境部長)**

環境部長の須藤です。

今の小泉委員からのご質問で何をやればいいのかということについてですが、本年度事業者向けの相談会として省エネや創エネに取り組んでもらえるような企画を考えています。そのときにはぜひ小泉委員にもお声掛けしますので、事業者の皆様のご参加を得て有意義なものにしたいと思っています。実際には省エネ診断として事業所を診断士に見てもらい、どういった改修をすればいいのか具体的な話し合いをしながら進めていくようになるのですが、まずは大まかな流れを皆様に知っていただいて、個々の事情に合った補助金もございますので、そういったものを活用しながらそれぞれの事業者の省エネ行動につなげていきたいと思っております。その時にはご協力をお願いいたします。

**(小泉俊夫 委員)**

例えばですが、足立区でもエアコンの温度設定を何度にしようと決めているのですが、企業が言うとケチっているように思われてしまうため、足立区として企業の皆様に会社でもこうしてほしいとい

うことを大きくうたっていただけないかと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

**(田中充 会長)**

ありがとうございました。

他の委員はいかがでしょう。

**(佐藤強士 委員)**

よろしいでしょうか。

**(田中充 会長)**

佐藤委員、よろしくお願いいたします。

**(佐藤強士 委員)**

公共施設の照明を全てLED化にしたらCO<sub>2</sub>排出量がだいぶ減るのではないかと思います。もしやっていなかったらそれを奨励したらどうかと思います。

**(田中充 会長)**

LED化のことでご発言をいただきましたが、事務局いかがですか。

**(加藤鉄也 環境政策課長)**

事務局でございます。

手元に具体的なLED化の数字は持っていないのですが、区内施設には街路灯も含めてLED化を推進しているところでございます。今後も着実に進めていきたいと考えています。

**(工藤信 委員)**

副区長の工藤です。

まず新築する場合は全てLED化しています。ただ古い学校でまだ改修を行っていないところについては一部残っていると思います。街路照明については全部LED化していますし、公園もほとんどLED化が終わっている状況でございます。今後全てLED化するように進めているところでございます。

**(田中充 会長)**

他の委員よろしいでしょうか。最後に私から2、3コメントをさせていただきます。

たいと思います。

まずロードマップの意義について、例えば10頁を見てくださいと、区全体のエネルギー使用量について2030年度に46%削減と考えたときに、現状のトレンドよりも大幅に削減をしなければいけないということになります。ロードマップというのは、現状の排出傾向を目標値に近づけていくための対策を盛り込むという趣旨だ、ということでご説明があったかと思います。

これに関連して1点目は、エネルギー使用量やCO<sub>2</sub>排出量の削減というのは、区の努力に加えて、例えば東京都ではこれから太陽光発電の建物への義務化の動きがありますし、国全体としても排出係数の削減であるとか、あるいは事業者に対する働き掛けとか、場合によっては規制の強化を行うことを考えていくことになるのだろうと思います。したがって、目標値に対して現状値から上乘せしていくというのは区の努力に加えて都や国の努力も含めて全体として実を結んでいくという前提があるということです。

2点目は、エネルギー使用量やCO<sub>2</sub>排出量は、オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」のデータを活用しています。このデータの出し方は東京都内の全ての自治体のデータを、例えば家庭であれば世帯数で按分するとか、産業であれば製造品出荷額等で按分して推計したものになっています。したがって家庭、業務、産業、運輸といった部門を実測して積み上げたデータではなく、都全体のデータから足立区だとかのくらいと割り振りをしているデータです。つまり、仮に区が省エネ努力を進めてもダイレクトにこの数値が

下がってくるものではなく、都全体のデータが下がってくれば足立区の方も下がってくるということになりますので、まずは都全体の削減が必要になってくるということで、施策の効果が反映しにくいという構造にあるということも理解していただくとよろしいと思います。

つまり工程表を作るということを前提に、目標の達成には他の要素も合わせて努力していかなければいけないということについても留意しながら進めていただきたいと思いました。

報告事項1についてはひとまずここまでにしたいと思いますが、追加でご発言の方がいらっしゃればどうぞお願いしたいと思います。

よろしければ、それでは報告事項2に移らせていただきます。それでは事務局、説明をお願いいたします。

#### **(加藤鉄也 環境政策課長)**

事務局でございます。

それでは33頁の報告事項2をご覧ください。再エネ100電力導入サポートプラン協力金事業の実施についてのご報告でございます。概要としましては、脱炭素化における重要なテーマのひとつである再生可能エネルギーの利用拡大策として、令和4年度新規事業についてご報告をさせていただきます。

事業概要ですが、項番1(1)再エネ由来の電力契約へ見直していただいた世帯に協力金を支給するというものでございます。これによって再エネの積極的な活用を促進してまいりたいと考えております。対象といたしましては、一般家庭、商店、小規模オフィスでございます。受付開始は6月13日予定でございます。予算額としましては1,000万円

で、1契約あたり2万円、500件となります。

事業内容についてですが、区内建築物の従量電灯BまたはCの契約から再生可能エネルギー100%由来の電力契約に切り替えた個人または中小規模事業者に対して、再エネ100電力導入協力金2万円を支給いたします。2年連続でしていただくとともにさらに2万円支給するというところで、最大2年間で4万円支給させていただくというものです。

これをホームページ、あだち広報に掲載予定でございますが、事業者との連携も重要だと思っております。現状は区のホームページや区内の家電量販店でのPRをしっかりとやっていくということ、事業者と連携して事業の周知をしていくことも考えたいと思っております。

さらに再エネ電力プランを取り扱う電力事業者はこの制度を周知し、賛同事業家としての登録を呼びかけているところでございます。事業者にとってもこの協力金がインセンティブになれば、事業周知の効果が期待できると考えております。私からは以上でございます。

**(田中充 会長)**

ありがとうございました。

新規事業としての再エネ100電力導入サポートプランという内容です。ご意見、ご質問ありましたらお願いします。会場の方はいかがでしょうか。

**(加藤鉄也 環境政策課長)**

会場は特にございませぬ。

**(田中充 会長)**

ありがとうございました。

気になりますのは、いわゆる新電力に切り替えるということになると思いますが、昨今のエネルギー価格の高騰によ

り電力が不足しているという状況の中で、新電力が苦勞されているということも聞いています。実際区内で再エネ100%、あるいは再エネ率が高いエネルギー事業者はそれなりにあるものでしょうか。区内に限らなくても結構ですが、そのあたりの実施可能性について事務局では把握されていますでしょうか。

**(加藤鉄也 環境政策課長)**

事務局でございます。

会長もご存じかもしれませんが、環境省で再エネ100を取り扱っている事業者の一覧がございますので、区民にも公開していきたいと考えています。今新電力は苦勞されていて、実際新規の募集を停止しているところも出てきており、厳しいところもあるかと思っております。しっかり情報収集していきたいと考えています。

**(田中充 会長)**

ありがとうございます。

それでは報告事項3に進めさせていただきます。環境基本計画指標の目標値設定ということになります。それでは事務局、説明をお願いいたします。

**(加藤鉄也 環境政策課長)**

皆様にご審議いただいた環境基本計画指標の目標値設定でございます。こちらは2021年度の世論調査の結果を踏まえて目標値を設定するというところでご審議をいただいておりますが、世論調査の結果が出ましたので、それに基づいて2024年度の目標値を設定させていただきました。

施策群2-2の廃棄物の適正な排出と処理に関する活動指標として雑紙を燃やすごみではなく、資源として出している区民の割合としていますが、調査結果が

59.6%と出ましたので、目標値を70%とさせていただきます。

施策群4-1の自然を大切にすることを心がけている区民の割合については、31.4%という調査結果が出ましたので、目標値としては40%を目指していくということでございます。施策群5-1の日頃から環境への影響を考慮して具体的に行動している区民の割合については、73.8%という数字が出ましたので、80%と目標設定をさせていただきます。事務局からは以上です。

**(田中充 会長)**

ありがとうございます。

特にアンケート調査に基づくところを中心に今回追加で指標を設定したというご説明です。何かご質問、ご意見ありましたら、お願いしたいと思います。

**(加藤鉄也 環境政策課長)**

土屋委員が挙手されています。

**(田中充 会長)**

土屋委員、お願いいたします。

**(土屋のりこ 委員)**

先日舎人公園に行ったときに、遊びに来られている方が、野生の水鳥に餌やりをしていることが結構見受けられました。餌やりをしないでくださいという看板はありましたが、薄汚れて見えづらかったです。その方自身は自然にやさしくありたい、環境に配慮しているつもりでされていても、実態としては野生の水鳥に餌をあげてもいけないし、そもそもパンをあげることで健康によくないということであまり推奨されない行為です。37頁では活動指標として情報発信回数が設定されていますが、大切にすることの中身をしっかりと啓発していかないと、本人は大切にしているつもりでも

結果的に大切にしていない行為になってしまうことで、生き物に与える影響も環境に与える影響もありますし、不正確な数値が出てきてしまいます。本当に環境を大切に、生き物を大切にすることはどういうことなのかということの啓発も併せてぜひお願いしたいと思います。

**(田中充 会長)**

ありがとうございました。

特に行動を促すとか意識を促すといったときによく留意してほしいというご趣旨かと思いますが、事務局から何かコメントはございますか。

**(工藤信 委員)**

舎人公園の話が出たのが、ただ餌やりをやるのではなく、どうしてやってはいけないのかという解説を書いていたのが重要だと思いますので、東京都にすぐ申し入れます。

**(田中充 会長)**

他の委員はいかがでしょうか。

**(加藤鉄也 環境政策課長)**

田島委員が挙手されています。

**(田中充 会長)**

田島委員、お願いいたします。

**(田島のぞみ 委員)**

自然や生物多様性に対する理解の促進について、ビオトープや生物園の体験とかも含まれていると思いますが、枠がすごく少ないので、子どもを持つ親としてはもう少し枠を増やして、そういう体験をさせていただきたいと思っています。

また、応募方法が往復はがきのみのところはすごく多いので、エコの観点やペーパーレス化の観点からも、ネットや電話での応募を可能にしてほしいと思います。都市農業公園の体験などは、ほぼはがきのみなのでご検討いただければと思

いました。

もう1つ、数年前に区役所で雑紙用のごみ袋を配っていたことがあって、すごく重宝したのでありがとうございますということをお伝えしたかったです。またこれからも続けていただきたいと思います。

**(工藤信 委員)**

副区長の工藤でございます。

生物園や都市農業公園は指定管理制度で民間の団体が募集をしていますが、なるべくウェブを使ったりできるように申し入れをさせていただきたいと思っております。

**(山本克広 足立清掃事務所長)**

清掃事務所長です。

雑紙用の手提げ袋はイベントの時に啓発のためにお配りしてはいますが、今はなかなかイベントが少ないですけれども、また検討していきたいと思っております。他には紙袋や少し大きめの封筒に入れたり、新聞紙などでくるんで出していただいても構いません。

**(田島のぞみ 委員)**

新聞紙ですか。

**(山本克広 足立清掃事務所長)**

はい。紙袋でお願いしますというと、紙袋が家にないという方もいらっしゃいますので、そのときは新聞紙などでこぼれないようにくるんでいただくか、紐で縛っていただいても構いません。

**(須藤純二 環境部長)**

環境部長の須藤です。

雑紙用の手提げ袋は、コロナの前はお配りしてはいたしましたが、あの袋に入れないと出してはいけないのかということをよく聞かれました。今清掃事務所長から話がありましたとおり、何に入れてもらっ

ても構わないものですので、しっかりと啓発して皆様にご理解いただくことが大事だと思います。冒頭にぬかが委員から行動変容がすごく大事だという話がありましたけれども、そういった一つひとつのことを丁寧に分かりやすく区民の皆様を示していきたいと思っております。

**(田中充 会長)**

ありがとうございました。

**(加藤鉄也 環境政策課長)**

小泉委員が挙手されています。

**(田中充 会長)**

小泉委員、お願いいたします。

**(小泉俊夫 委員)**

この間雑紙を出したのですが、2度ほど持って行っていただけないことがありました。

**(山本克広 足立清掃事務所長)**

足立清掃事務所長です。

せっかく出していただいたのに、持っていかなかったことがあったということですが、感熱紙とかが入っていて警告シールが貼ってあればそのとおりなのですが、それがなければ考えられるのはこちらの手違いですので、後ほど集積所の場所を教えてください改善に努めます。

**(田中充 会長)**

ありがとうございました。よろしいでしょうか、それでは報告事項4の説明をお願いします。

**(加藤鉄也 環境政策課長)**

事務局でございます。

報告事項4、環境基金審査会の実施結果についてのご報告でございます。項番1の応募でございますが、一般が2件、ファーストステップが28件、合計30件ございました。そのうち採択は、一般が1件、ファーストステップが26件、合

計 27 件でございました。

項番 2 でございます。環境基金審査会の開催日は今年 2 月 10 日、審査員は 9 名で構成は学識、区議会、公募よる区民委員、それぞれ 3 名ずつで審査をさせていただきます。

採択された活動でございますが、一般助成は進栄化成株式会社で、ペットボトルキャップを原料とした再生原料でトイレタリー製品の容器を製造し、さらに製造過程について小学校で出前講座を行って啓発活動をしていただくというもので、交付決定額は 1,000 万円でございます。

続いてファーストステップ助成についてです。まず、合同会社ひとつやねのしたについてですが、プラスチックフリーの青果物販売として、昔ながらの八百屋のようにかごに置いて野菜を販売したり、普及啓発でチラシを配布する活動で、交付決定額は 20 万円でございます。千住暮らしプロジェクトですが、区内企業で廃棄される残紙でノートを作ってイベント参加者に配布をしていくという活動で、12 万 4,000 円でございます。3 番目が株式会社オプティで、不要な化粧品で絵の具を製作し、それで子どもたちが絵を描くイベントを開催します。イベントを通して廃棄物削減や資源の重要性を訴えていくという活動で、19 万 8,000 円でございます。最後は区内の商店街 23 か所からエコバッグを作成するという申請がございました。これは単に作成するだけではなく、プラスチック削減に向けた普及啓発も行っていくという活動で、各商店街に 20 万円ずつでございます。

項番 4、今後の予定でございますが、

第二期の募集がございます。4 月 25 日に募集を開始しまして、7 月 25 日に審査会を実施する予定でございます。今後もしっかり普及啓発に努めていきたいと考えています。

**(田中充 会長)**

ありがとうございました。

ご質問、ご意見がありましたらお願いしたいと思います。

**(加藤鉄也 環境政策課長)**

いいくら委員が挙手されています。

**(田中充 会長)**

いいくら委員、お願いいたします。

**(いいくら昭二 委員)**

先ほども議論がありましたように、次世代を担う子どもたちにどのような形で環境をつないでいくかがすごく大切なことだと思います。子どもたちはいろんなインプットはしますが、認識したものをどのようにアウトプットするかということがすごく大切になってくると思います。これは足立区全体でやっていかなければいけないと思いますが、特に環境部としてはどのように構想を練っているのか、その点についてお伺いいたします。

**(田中充 会長)**

どうぞお願いいたします。

**(加藤鉄也 環境政策課長)**

事務局でございます。

おっしゃるとおり事業や講座というのはお子さんたちに色々学んでもらうある意味インプットというところかと思えます。お子さんたちが環境に関して大人たちに何か提案するものとしては、環境ポスターコンクールで環境についていろいろお子さんたちが絵を書いてみるという事業や、環境かるたの読み札の募集もあります。確かにお子さんたちが大人に何

かを提案する仕組みも大切だといいくら委員のご発言で再度認識させていただきました。

**(田中充 会長)**

よろしいでしょうか。

**(いいくら昭二 委員)**

環境ポスターは私も存じ上げているのですが、ぜひとも他区の実績などを見て新たなアイデアというか。私が思ったのは、子どもたちも環境基金助成に応募してもいいのではないかとということです。学校単位でいいと思いますが、子どもたちの新たな発想が、また新しい角度の発想になるのではないかと思います。環境というのはこれからの大切な課題になってくると思いますので、足立区民みんな考えていかなければいけない課題だと思っております。これを要望しておきますので、よろしくお願いいたします。

**(田中充 会長)**

ありがとうございます。

制度全般の話なので少し時間をかけないと検討が難しいところでもあると思いますが、ご意見として承っておきたいと思っております。本日4つの報告事項を用意させていただきました。一通りご確認、ご意見をいただきましたが、全体にわたって何かありますでしょうか。

**(加藤鉄也 環境政策課長)**

ぬかが委員が挙手されています。

**(田中充 会長)**

ぬかが委員、お願いいたします。

**(ぬかが和子 委員)**

先ほど生物多様性の議論がありました。先月から今月にかけて花畑運河の護岸工事において事件がありました。それは河川工事を行うということで入札不調がずっと続いていたので、土木工事業者

が工事を行うことになりました。川を堰き止めて工事を行うということで、始まってみたらもの見事に川を埋めてしまって、川にいる生き物や魚のことは何も考慮されておらず、魚が浮いてきてしまって、近所から苦情が殺到しました。結局、苦情が殺到した中で下請け業者の提案で、6月2日金曜日にやっと初めて生き残った魚たちの救出かい掘り作戦を行ったのですが、当初はそういう計画は何もありませんでした。これは環境部の仕事ではないのは分かっているのですが、区として生物多様性地域戦略を持っている、生物多様性や生き物の大切さを知るようにしようと言っている一方で、川を埋めて魚が浮いてくるといのではないだろうと思いました。

環境アセスメントまではいかなくても、工事発注するのは都市建設部だったり教育委員会だったりするわけですが、ぜひ環境部との連携というか、風通しを良くして生物多様性地域戦略に反しないかどうかというチェックを色々な工事でも今後やれるような、そして連携してこれなら大丈夫だと環境部も言ってあげられるような、そういう仕組みをぜひ教訓化して作っていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

**(田中充 会長)**

ご指摘、ご意見をありがとうございます。

今の点で、事務局からお答えすることはございますか。

**(工藤信 委員)**

副区長の工藤です。

確かに事前にかい掘りをして魚を捕獲して移設するというのが当初念頭になかったのは事実で、本当に至らなかった

と思っております。工事を進めていくうちに水面をだんだん下げていって、そうしたら先々週あたりに急に暑くなって魚が130匹ぐらい水面に浮いて死んでしまいました。翌日は十何匹ぐらい死んだということで、その対策をしなければいけないとなり、急遽魚を捕獲する事業者をお願いして、捕獲して他の河川に戻しました。ぬかが委員おっしゃるとおり、私どもがそこまで至らなかったということです。ただ今後は今回の反省を踏まえて、しっかりとそういった対策を取りながら河川工事を進めていきたいと思っております。地域の皆様にも大変ご心配をおかけしまして申し訳なかったと思っております。

**(田中充 会長)**

よろしいでしょうか。

**(ぬかが和子 委員)**

副区長に言っていたいただいたのはありがたいのですが、例えば道路の工事など比較的大きな工事をやる場合に、今回ほどはいかなくても生物多様性地域戦略から見たらどうなのと問われるような行為がないかを、きちんと連携してチェックできるような仕組みを、色々な工事の中でも考えていっていただきたいということなので、ぜひよろしくお願ひしたいと思っております。

**(工藤信 委員)**

副区長の工藤でございます。

全庁でどんなことができるか、チェックシートのようなものができるか検討させていただきます。

**(田中充 会長)**

ありがとうございます。

委員からご指摘があった点については、副区長も言及されていましたが、公

共事業の環境配慮チェックシートを作ることが考えられると思います。例えば再開発事業や道路整備事業といった大規模な事業になればアセスメントという仕組みがありますが、そこまで大規模でなくても一定規模以上の場合には事前に環境上問題点がないか、工法や事業の場所という観点から問題がないかをあらかじめチェックする手法はあると思います。副区長がコメントされたチェックシートというのはそのようなことを想定されているのかと思います。こういった配慮をしておくことが環境上の被害をあらかじめ防止することにつながると思いますので、ぜひご検討いただければと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

他にありますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは予定の議題はこれで終了とさせていただきます。ロードマップの件、それから他の3つの報告事項の件について、それぞれに大変貴重なご意見やご要望をいただきました。事務局として整理をしていただき、区の施策に反映していただければと思います。それでは今後の予定などについて事務局からご説明をお願いいたします。

**(加藤鉄也 環境政策課長)**

事務局でございます。

長時間にわたりご審議いただきありがとうございました。次回の環境審議会でございますが、9月9日金曜日、午後3時から開催予定です。会場は後日お知らせさせていただきます。次回もオンラインを併用した形で開催する予定でございます。事務局からは以上でございます。

**(田中充 会長)**

ありがとうございました。

それではこれをもって令和4年度第1

回環境審議会を閉会させていただきます。  
ありがとうございます。

以上

(会議録署名)

令和4年度第1回環境審議会 会議録記録署名員  
(令和4年6月6日 開催)

会 長	田 中 亮
署 名 委 員	額 賀 和 子
署 名 委 員	高 山 のぶゆき